

広報

SHOBARA the public information magazine

しょうばら

美しく輝く 里山共生都市

12

2025/December
No.249

東城に息づく、時代をつなぐ彩り—

11月2日、東城町で「第32回お通り」が開催されました。

武者や母衣、華やかな行列がまちなかを練り歩き、400年以上受け継がれてきた伝統が東城のまちを包みました。(関連記事：14 ページ)

こうすりゃ〜ええ農

Agricultural news vol. 94

このコーナーは、
営農指導員から、農業のちょっと
したコツを、お知らせします。

農業振興課農業振興係 ☎0824-73-1131

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーをシリーズで紹介しています。
今回は西城自治振興区の地域マネージャーとして、夢中になれるまちづくりを目指して活動する清水さん、お話を伺いました。

自治定住課自治定住係 ☎0824・73・1209



西城自治振興区の地域マネージャーとして活動する清水 慎之助さん

地域マネージャー就任までの経緯

私は、生まれてから高校卒業まで西城町で育ち、卒業後は広島市の会社に就職しました。
20歳のときに、ふるさとである庄原市へ戻ることとなり、地域の人の関わりを通じて、学生時代に感じていたボランティアや地域活動の楽しさを思い出しました。
そして、ご縁をいただき、西城自治振興区の地域マネージャーに就任することとなりました。

「これまで」と「これから」
これまで、移住・定住促進を軸にさまざまな活動を行ってきました。

例えば、新型コロナウイルスによって希薄となった地域のつながりを取り戻すための「集いの場づくり」や、西城町の空き家調査、相続に関するセミナーの開催、そして、「ドローンサッカー」を活用した全年齢対象の交流促進などです。



- 2 市民のページ
- 3 こうすりゃ〜ええ農
- 4 株式会社モンペルと包括連携協定を締結
- 5 庄原市有害鳥獣処理加工施設が完成
- 6 全国花のまちづくりコンクールで優秀賞を受賞
- 7 庄原市教育フォーラム
- 8 除雪作業にご理解とご協力を
- 9 ひととひと・まちとまちをつなぐ芸術線
- 10 安心・安全な毎日のために／ほのぼのネット通信
- 11 高齢者世帯雪下ろし支援制度／市役所の電話受付の運用が変わります
- 12 市政トピックス／カメラレポート
- 16 健康広場
- 17 お知らせ
- 24 出張！市政トピックス

なごみま☆ジョット



なかた 桃空ちゃん（七塚町）
R4年10月15日生まれ

父母より：みんなのことを笑わせてくれるお調子者♪これからも笑顔いっぱい大きくなってね！

お子さんの写真を載せてみませんか？

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・住所・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えて、行政振興課または各支所総務室まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。メールアドレス



地域の皆さんへのメッセージ

これからは、現在取り組んでいるドローンサッカーの普及活動や西城町の広報活動により一層注力していき、地域の課題解決と活性化、同じ思いを持つ仲間づくりに努めていきたいと思っています。

これから、地域の皆さんからアドバイスをいただきながら、地域に根ざしたまちづくり、未来づくりを長く続けていきますので、どうぞよろしく願います！

野菜作りのワンポイントアドバイス

営農指導員 若山 譲

本格的な寒さの前に防霜・防寒対策を！

野菜は、気温の低下とともに生育にブレーキが掛かります。また、菜園に残っている野菜は、収穫を急ぐか、残るものには寒さ対策が必要です。

防霜・防寒対策には、葉の結束（ハクサイ）、株元への土寄せ（ダイコン）、被覆資材による防霜・保温（主に葉野菜）などがあります。

「※べた掛け」資材のポイント

※作物や畝の上に直接被覆資材を掛けて栽培する方法

①ホウレンソウ・コマツナの被覆
いずれも耐寒性が強い作物ですが、生育が遅れている場合は、不織布を直接掛けて生育の促進を図りましょう。不織布は、株の伸長を考慮して、たるませて掛けるようにします。

収穫期が近づいたら、日中は被覆を外して、直射日光を十分に当てましょう。

②フロッコリーの被覆

晩成種の収穫はこれからです。寒さで葉が傷まないよう、また、ヒ

③レタスの被覆

玉レタスは、不織布をべた掛けしても、凍結による腐敗を防ぐことは困難です。

リーフレタスは玉レタスよりも耐寒性が強く、外側の葉をむく程度で年内の収穫が可能です。

④サヤエンドウの被覆

寒冷紗の被覆を行うことで、寒さによる生育不良なども少なく、生育も揃うようになります。スナッペンエンドウ、ソラマメでも同様の効果があります。

⑤ニンジン、ダイコンの土寄せ

ニンジンは根の上部が露出していると寒さで凍り傷みます。3月まで収穫する場合は、株元に軽く土寄せをします。

ダイコンは凍結すると表皮が剥離するので、株元に土寄せするか、抜き取ったダイコンの葉を10センチ程度残して、穴を掘ったところに縦に並べて土を掛け貯蔵します。丸ダイコンやカブは厳寒期に凍結して割れることがあります。

花作りのワンポイントアドバイス

営農指導員 永奥 啓

本年の花栽培の振り返り

1 過酷な気象

本年の気象は例年以上に過酷で、花卉の生育に重要な降水量と最高気温は、想定外の状態が続きました。

特に雨が7月上旬から下旬までの1カ月間ほとんど降らず、畑がカラカラになる一方で、9月はほとんど毎日のように降雨が続きました。

また、最高気温も6月下旬から9月中旬まで連日30度以上の猛暑が続きました。

このように、花卉にとっては過酷な気象で、管理する人にとっても大変な1年でした。



2 花卉への害虫、病気発生

①害虫の状況

一般的に、気温が高めで、雨が少ない年には害虫の発生が多いといわれていますが、本年もさまざまな害虫が発生しました。

特に本年は、ハスモンヨトウ、オオタバコガやコナガ、ダニ類の発生が多く見られ、害を受けた花卉が目立ちました。

このように、本年は各種害虫が多く発生しましたが、基本的な対策としては、害虫の発生を早めに見つけて、早めの防除を行うことが大切です。

②病気の状況

害虫の発生とは逆で、気温が高く雨が少ない年には病気の発生が少ないといわれています。

それでも部分的にうどんこ病や白さび病、灰色かび病などの発生が見られました。

害虫の防除とは異なり、どの病気についても、発生前の病斑（植物の葉や茎に現れる、病気によって生じる斑点や症状のこと）が目に見えるまでの予防的防除を行うことで、被害の減少につなげることができます。



庄原市有害鳥獣処理加工施設が完成

林業振興課林業振興係 ☎ 0824-73-1124

庄原市有害鳥獣処理加工施設 竣工式

新たな施設が完成！

庄原市有害鳥獣処理加工施設が10月に完成し、11月1日からニホンジカの受け入れをスタートしています。

旧施設では捕獲頭数の増加に伴う従事者の作業負担の増加、ニホンジカの受け入れに対応した天井高の確保や、食肉活用に向けた保存スペース不足が課題でしたが、これらの諸課題を解決できるよう、新たな処理加工施設を整備しました。

また、捕獲者の埋設処理負担の軽減と合わせて、捕獲個体を地域資源として捉え、有効活用に積極的に取り組む、地域産業の活性化に資することが期待されます。

受け入れ時間などは従来と変わらず、月曜日から土曜日の8時30分から正午までです。

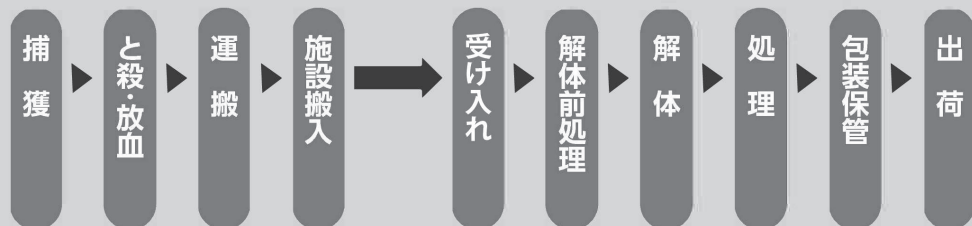
なお、施設で加工したジビエは、施設での直売のほか、道の駅たかの、食彩館しょうばらゆめさくらのミート工房でも販売中です。



受け入れ作業工程

【捕獲者(有害鳥獣捕獲許可等)】

【処理施設での作業(食肉処理業許可)】



施設概要

| | |
|------------------------|--|
| 名称 | 庄原市有害鳥獣処理加工施設 |
| 所在地 | 庄原市是松町 50220 番地 6 |
| 構造 | 鉄骨造平屋建て |
| 延床面積 | 249.96 平方メートル |
| 受け入れ時間 (事前にご連絡ください) | 月～土曜日 8時30分～12時 (日・祝・年末年始を除く) 受入専用電話：080-8231-4361 |
| 施設運営 | 株式会社 庄原市農林公社 |
| 事務所連絡先 | 0824-74-6966 |

位置図



庄原市
SHOBARA CITY

× mont-bell

株式会社モンベルと 包括連携協定を締結

このたび、本市と株式会社モンベルは、包括連携協定を締結しました。
この協定は、市内の自然資源を活用したアウトドア活動などの促進や、地域の活性化と生活の質の向上を目的としたものです。

連携事項

- (1) 自然体験の促進による環境保全意識の醸成に関すること
- (2) 子どもたちの生き抜いていく力の育成に関すること
- (3) 自然体験の促進による健康増進に関すること
- (4) 防災意識と災害対応力の向上に関すること
- (5) 地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化に関すること
- (6) 農林水産業の活性化に関すること
- (7) 高齢者、障がい者等の自然体験参加の促進に関すること



10月23日にモンベル本社(大阪市)で行われた協定締結式には、株式会社モンベル代表取締役会長の辰野勇さんと八谷恭介市長が出席しました。
報道陣を前に、辰野会長は「人口減少をネガティブに捉えるのではなく、環境保全や健康増進などで生活に潤いを与えていきたい」とコメントし、八谷市長は「幅広い分野での協働を通じて、自然と人が調和しながら輝く庄原を、具体的な形として実現していけるよう、全力で取り組んでいく」と、今後に向けた抱負を述べました。

今後の展望

モンベルが全国の地域と築くパートナーシップ「フレンドタウン」への登録を進め、さらなる連携を深めていきます。併せて、全国120万人の会員を有するモンベルクラブの会員向け特典を提供する「フレンドショップ」の市内展開・拡大を図ります。
これらの取り組みを進めることで、モンベルの発信力を生かした本市の観光PRや、市民が参加できるアウトドアイベントの開催、市内施設の利用者数増加など、さまざまな展開が期待されます。
広大な自然に囲まれた庄原だからこそできる、人と自然が共に輝くまちづくり。モンベルとの連携を通じて、本市の魅力を全国へ発信していきます。



庄原市教育フォーラム

教育指導課指導係 ☎ 0824-73-1184



本年度は「芸術・文化」をテーマに10月19日、庄原市民会館で開催し、児童生徒、教職員、保護者を中心に市内外から約500人が参加しました。

音楽や芸術は、私たちの生活の中に溶け込んでおり、やりがいや潤いの源となっています。そして、私たちの生活に彩りを与え、豊かな心を育む、大きな力をもっています。

今回も、中学生が司会を務めながら、小学生の合唱発表や中学生による伝統文化・部活動の取り組みの発表を行いました。

フォーラムの最後には、広島ジュニアマリンバアンサンブルが元気いっぱいのパフォーマンスを披露し、会場は大きな感動に包まれました。

本年度の教育フォーラム

教育フォーラムとは

市教育委員会は「庄原で学んで良かったと心から思える教育」を目指し、将来にわたって子どもたちが「ふるさと庄原」で培った「知・徳・体」を原動力として、激しく変動する社会を生き抜き、活躍できるよう取り組みを進めています。

その取り組みの一つとして、平成26年度から学校、家庭、地域などが一緒に、本市の教育、次代を担う子どもたちの育成について考える「教育フォーラム」を開催しています。

「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞を受賞

商工観光課観光振興係 ☎ 0824-73-1179

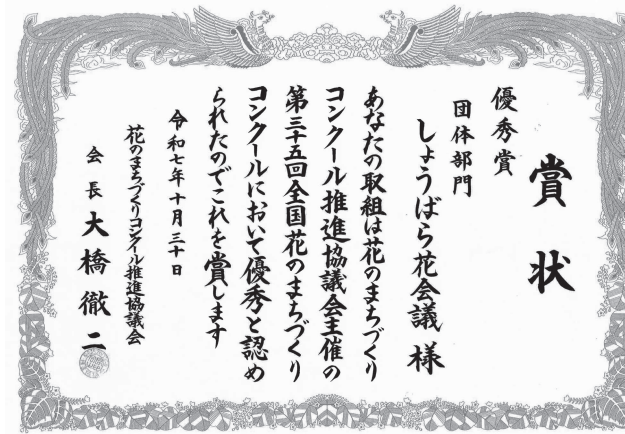


快挙！「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞を獲得

市内で花と緑のまちづくりを進めている団体「しょうばら花会議」が、初参加で「全国花のまちづくりコンクール」の優秀賞を獲得しました。

受賞した「団体部門」では、全国から604件の応募があり、その中で、大賞に次ぐ2番目の賞に選出されるという快挙を成し遂げました。

今回の受賞では、オープンガーデンに参加している各庭の質の高さに加え、地域を巻き込んだ多様な活動と、「庄原を美しく、住んで訪れて楽しいまちにしたい」という熱意が高く評価されました。



全国花のまちづくりコンクール

全国で取り組まれている花のまちづくりの優秀な活動を顕彰し、花のまちづくりがより一層普及定着することを目指し、毎年実施されているコンクールです。

平成2年に開催された「国際花と緑の博覧会」（大阪花博）のテーマである「自然と人間との共生」を継承し、その翌年から始まりました。



▲オープンガーデンの現地審査

しょうばら花会議

しょうばら花会議は平成22年に発足し、春と秋に多くの人が本市を訪れる「庄原」とやまオープンガーデン」の取り組みのほか、国営備北丘陵公園や、花による活動を行っているさまざまな人たちと共に、花のまちづくりを進めています。

このたびの受賞を受け、しょうばら花会議の皆さんは「これをきっかけに、改めて花と緑のまちづくりを楽しむ仲間を増やしていきたい」と満面の笑みで話しました。

板橋小の児童による合唱

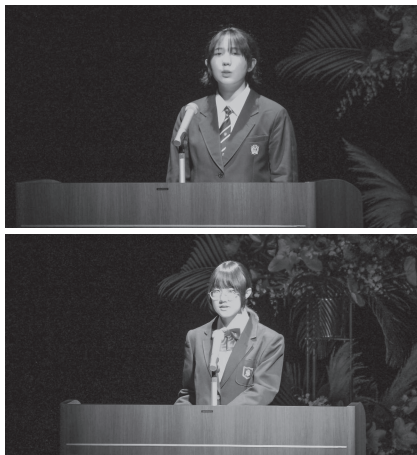
板橋小の5・6年生は、心を一つにした合唱を発表しました。

「花は咲く」「大切なもの」「ひろい世界へ」の3曲を披露し、優しく美しいハーモニーを会場で響かせました。



東城中・庄原中の生徒による意見発表

東城中3年の藤本千早さんは、ロボット製作についての活動紹介や学んだこと、これからの目標などについて発表し、庄原中3年の教益幸奈さんは、美術部の部長として挑戦してきたことや、挑戦から得られたものなどを、自分の言葉で堂々と発表しました。



比和中の生徒による比和牛供養田植

比和中は、全校生徒10人による「比和牛供養田植」を披露しました。

地域に伝わる伝統文化を引き継いでいく、力強い意志をステージで表現しました。



広島ジュニアマリンバアンサンブルによる演奏

広島ジュニアマリンバアンサンブルは、国際親善や世界中の平和を願って国内外で広く活動しています。

当日はアンコールを含めて16曲を演奏し、躍動感あふれるパフォーマンスに、会場は大きな盛り上がりを見せました。



参加者からは、「子どもたちのチャレンジする姿が見られてとても良かった」「発表だけでなく、生徒が司会や運営も行い、子ども主体のフォーラムとなっていて素晴らしいかった」などの感想が寄せられました。



▲コンクールに応募したオープンガーデン



▲主体的な取り組みや民主的な運営を行う花会議メンバー

除雪作業に

ご理解とご協力を

建設課管理係 ☎0824・73・1150



12月に入り、市内各地域で積雪が予想されます。

県と市は、積雪時に道路交通を早期に確保するため、除雪に努めています。

除雪作業は日常生活に欠かすことのできない道路交通を確保するための重要な作業であり、迅速かつ効率的に行う必要がありますが、積雪量や障害物などで時間が掛かる場合もあり、道路の幅や構造によっては、除雪できない道もあります。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

市道の除雪

市は道路上に15センチ以上の積雪が確認され、通行に支障がある場合に除雪作業を行います。

夜間の除雪作業は大変危険なため、原則として5時～17時の間に行います。

道路の幅員や障害物などの状況によっては、交通規制などを行う場合があります。



市民の皆さんへのお願い

車道・歩道上の除雪作業の障害となるものは、事前に撤去するなどの対応をお願いします。また、道路脇に設置してある電気柵などは除雪作業で破損する恐れがありますので、あらかじめ撤去してください。

路上駐車は、除雪作業に支障が生じますのでご注意ください。

家や駐車場の出入口は特に注意して除雪していますが、除雪機械の構造上、全ての雪を取り除くことはできません。限られた時間と人員で市内の道路交通を確保しなければならぬため、寄せ雪の除去は大変困難です。各家庭で取り除いてください。

道路脇の木の枝が積雪でたわみ、通行の障害になる場合は、樹木の所有者の責任で撤去するなどの対応をお願いします。特に危険な場合には、作業者が伐採することがあります。

屋根の雪やつらが道路に落ちる恐れがある場合は、屋根に雪止めなどを設置し、事故防止の対策をしてください。

※屋根などの敷地内の雪を道路に出す行為は、道路法および道路交通法などで禁止されています。

除雪についての問い合わせ

▶国・県道の場合 広島県北部建設事務所庄原支所土木課 ☎0824-72-2015

▶市道の場合

環境建設部建設課 ☎0824-73-1150
西城支所地域振興室 ☎0824-82-2181
口和支所地域振興室 ☎0824-87-2113
比和支所地域振興室 ☎0824-85-3003

東城支所産業建設室 ☎08477-2-5141
高野支所地域振興室 ☎0824-86-2113
総領支所地域振興室 ☎0824-88-3065

ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線 ～芸備線再構築協議会で取り組む実証事業～

地域交通課芸備線対策係 ☎0824-73-1171

11月6日、第5回芸備線再構築協議会が広島市で開催されました。今回は、芸備線がもたらす地域経済効果などを確認するために取り組む実証事業や、列車の乗り込み調査などに取り組んでいる調査事業の進捗状況の報告などが行われました。



▲実証事業として行われた
口和フットパスウォーキングツアー

主な報告内容

実証事業の報告では、増便・ダイヤ変更をはじめ、列車の到着と合わせた観光地への二次交通の運行、列車を活用したツアーやイベントなどといった取り組みの進捗状況について報告が行われました。

また、列車の乗り込み調査や実証事業と合わせて取り組んでいるアンケート調査の途中経過などについて報告が行われたほか、来年度は、鉄道以外の交通手段による実証事業を行っていくための予算化に向けた議論を幹事会で進めていくことについて、構成員間で合意しました。

夏から秋にかけて行われた列車の増便については、10月に開催された幹事会において、11月末から来年3月まで週1回の増便を行うとのJR西日本からの申し出を受け、構成員間で一致したことが報告されました。

第5回芸備線再構築協議会での 本市の意見

①現在の取り組みについて

・今は「芸備線の可能性を最大限追求する」段階であり、限られた期間内でさまざまな角度から可能性を探る取り組みを展開していく必要があることから、既に実施中の事業や企画段階の取り組みについて、利用者や関係者の意見に耳を傾け、予算や実施体制に制約がある中においても、内容をアレンジしていくという柔軟性も必要なのではないかと考える。

・これまで、地域で実施された関連イベントの運営や列車の到着時間に合わせて各駅で乗客に手を振っておられる住民の姿に多く触れる中で、芸備線の存在が地域の活力や愛着などといった定性的な価値につながっている部分があると実感している。

・そういった点も含め、本市が目指すまちづくりにおいて、芸備線をはじめとする地域の交通が果たす、地域経済効果だけに限らない価値や可能性を整理する中で、丁寧な評価・検証につなげてまいりたい。

②今後の実証事業について

・これまでの協議で共通認識となっている、4月以降の芸備線の可能性を最大限追求するための実証事業の継続について、軸となる増便の対応や

今後のスケジュール

令和7年12月 第7回芸備線再構築協議会幹事会
令和8年1月 第8回芸備線再構築協議会幹事会
令和8年3月 第6回芸備線再構築協議会

詳しい内容や当日の資料は
中国運輸局ホームページに
掲載されています

実証事業の最新情報は、
キャンペーンサイトを
ご覧ください



「雪下ろし」を支援します ～庄原市高齢者世帯雪下ろし支援制度～

高齢者福祉課高齢者福祉係 ☎0824-73-1143

安心安全な毎日のために 庄原消防署からのお知らせ

庄原消防署 ☎0824-72-9911・東城消防署 ☎08477-2-4005

火災の発生に注意しましょう！
この時期は空気が乾燥し、風も強くなるため、火災の発生しやすい気候となります。火気の使用も増えるため、火を取り扱う際には十分注意しましょう。

火気を取り扱う際の注意点

- 給油の際には必ず火を消す
- 燃料タンクの蓋は確実に締める
- ストープの近くで洗濯物を干さない
- ストープなど暖房器具の近くに、燃えやすいものやスプレー缶などを置かない
- 外出や就寝前には必ず火を消す

カセットコンロの取り扱いに注意

寒くなってくると、鍋が美味しい季節です。カセットコンロの取り扱いを誤ると、ボンベに熱が伝わり、爆発する事故が発生してしまいます。使用する際は、取扱説明書をよく確認し、正しく使いましょう。また、次のような使い方は絶対にしないでください！



- コンロを覆うような大きい調理器具は使用しない
- クッキングヒーターなど、他の熱源の近くに置かない
- 2台以上並べて使用しない
- テントや車内で使用しない
- ボンベを廃棄する際は、ガスが残っていないことを確認し、地域の取り決めに従い廃棄する

電気火災にご注意！

電気は身近なもので、私たちの生活になくてはならないものですが、電気製品の使い方を間違えたり、維持管理を怠ったり、古い製品を使用し続けたりすることで、電気火災に至ることがあります。電気火災予防のポイントをしつかり確認しておきましょう！



支援内容

●経費の助成
対象作業に要した経費の3分の1以内の額（千円未満は切り捨て）を助成します。同一年度内の助成金の上限は3万7千円です。

●業者の紹介
対応が可能な業者を紹介いたしますので、問い合わせください。

申請方法

業者などに依頼した雪下ろし作業が完了した後、交付申請書に実施状況報告書と領収書の写しを添えて申請してください。

申請窓口・問い合わせ

高齢者福祉課高齢者福祉係
☎0824・73・1143
または各支所地域振興室（西城支所は、しあわせ館内）

ほのぼのネット 子どもの成長を一緒に確認しましょう

ほのぼのネット ☎0824-73-1214

乳幼児健診

子どもが健康で順調に成長しているかを確認し、発達に關わる病気などをいち早く見つけ、対応するためのとても重要な健診です。
市が実施している乳幼児健診には、6～8カ月児健診、1歳6カ月児健診、2歳児園科健診、3歳児健診があります。これらは、子どもの発達段階で特に確認が必要な年齢を設定しています。
小児科医師、歯科医師、歯科衛生士、助産師、栄養士、保健師など多職種が関わり、発達の確認や病気の早期発見のほか、子育て中の不安や困りごとなど、育児に関するさまざまな相談にも応じています。

電子母子手帳アプリ「庄原ほのぼのネットアプリ」

健診で使用する問診表を電子母子手帳アプリ「庄原ほのぼのネットアプリ」から事前に入力できます。



ダウンロードはこちら

ダウンロード後、市から乳幼児健診対象者へ配布する専用二次元コードをアプリ内カメラから読み込むことで、問診票の入力ができます。
また、健診終了後、健診結果をアプリから確認することができます。
アプリでの入力や操作が難しい場合は、問い合わせ先へご連絡ください。

健診のほかに、育児相談や個別相談も実施しています。発達に応じて必要な関わりを持つことは、子どもが成長していく上で大きな財産になります。何か心配なことがある場合には、お気軽にご連絡ください。

問い合わせ

保健医療課母子保健係
☎0824・73・1214

本年度の健診日程は…

庄原市 乳幼児健診

で検索！

1月から市役所の電話受付の運用が変わります

総務課総務法制係 ☎0824-73-1123

窓口業務や受付対応における「正確な情報伝達」と「サービス品質の向上」を図るとともに、職員へのカスタマーハラスメント対策を目的として、令和8年1月から順次、市役所の電話受付の運用を変更します。
市民の皆さんにはご理解とご協力をお願いします。

通話録音にご理解とご協力をお願いします

市役所本庁、各支所（西城支所はしあわせ館を含む）などの通話内容を録音します。市役所への電話の際は、通話を録音する旨の音声アナウンスが流れた後、職員との通話に切り替わります。
なお、市役所からの電話の際は、音声アナウンスは流れませんが、通話内容が録音されます。

【アナウンス内容】

庄原市役所です。
この通話は、対応の品質向上のため録音させていただきます。

※内容・文言などは変更になる場合があります。

終業時刻（17時15分）以降は自動応答に

市役所本庁、各支所（西城支所はしあわせ館を含む）などへの電話でのお問い合わせは、原則として開庁時間（8時30分～17時15分）での受付となります。

緊急の要件などは、これまでもどおり代表電話を利用してください。（この場合も通話内容は録音されます。）
緊急時以外の場合は、平日の開庁時間内にお問い合わせください。

代表電話

☎0824・73・1111

【アナウンス内容】

お電話ありがとうございます。庄原市役所です。
ただ今の時間は業務時間外となっております。
誠に恐れ入りますが、平日の8時30分から17時15分までの間にお掛けください。
お電話ありがとうございました。

※内容・文言などは変更になる場合があります。



市民生活課

人生100年時代のキャリアデザイン

男女共同参画エンパワメント講座



講師の話を熱心に聞く参加者

10月30日、庄原自治振興センターで「**キャリアデザイン**」を講師に「人生100年時代のキャリアデザイン」と題して男女共同参画エンパワメント講座を開催しました。

「エンパワメント」とは、「力を付ける」という意味で、この講座では、庄原市女性団体連絡協議会との共催で、自分自身で課題を解決していく力や自信を身に付け、男女がさまざまな場面で共に参画し、活躍できる社会の実現を目指すことを目的としています。

参加者は、この講座で自分自身の過去を振り返りながら、ライフステージに応じたやりたいことに挑戦し、何歳でも生きがいと自信をもつて生きていく方法について学びました。受講後には「とても元気が出た。これからの人生を充実させていきたい」と話しました。

危機管理課

地域の見守り活動強化に向けて

「地域における市と市内郵便局の協力に関する協定」に基づく見守り活動



郵便車両の前でステッカーを手渡し

10月27日から、東城地域郵便局の郵便車両・バイクへ「地域まもり実施中」と記したステッカーを掲示し、郵便業務中に地域の見守り活動を行っています。

この取り組みは、6月に東城町で発生した痛ましい事件を受け、市と市内郵便局が締結している「地域における市と市内郵便局の協力に関する協定」に基づくもので、郵便車両へのステッカー掲示と併せて、事件が発生した田森自治振興区の各世帯に「監視強化地域」のステッカーが配布されました。

「少しでも地域住民の皆さんの不安を解消したい」と、日本郵便備北地区連絡会の尾原夏紀（おのばな）統括局長から田森自治振興区の名越和之（なごしわゆき）会長へステッカーが手渡され、名越会長は「郵便局の車両を見るとほっとする。大変ありがたい」と感謝の言葉を伝えました。

農業振興課

乳牛のオリンピックに挑戦！

全日本ホルスタイン共進会

10年ぶりに「乳牛のオリンピック」と呼ばれる「全日本ホルスタイン共進会」が10月25・26日の2日間、北海道勇払郡安平町で開催されました。

この大会では、各都道府県を代表する乳牛（ホルスタイン種およびジャージー種）を集め、乳牛が健康で長く活躍するために求められる理想的な体型への改良度合いを比較・審査します。

広島県からは3頭が出品され、本市からは向田修実さん（高野町）が飼養する「フラインビユー セイバーサム」（ホルスタイン種）が出場しました。

向田さんの代表牛は第11部（Jサイア3歳クラス）に出品され、堂々とした雄姿を披露しましたが、惜しくも上位入賞には届きませんでした。

大会には、市内の酪農家や畜産を志す若手有志が牛の世話などのサポートに駆け付け、広島県チームが一丸となって取り組みました。

この大会を通じて酪農家同士の絆が深まり、また、若手農業者は貴重な経験と情熱を得ることができました。

本大会を通じて得られた経験や交流は、今後の地域酪農の発展にも生かされていきます。



向田さん(右から2人目)とサポートに駆け付けた若手農業者



堂々と入場する「フラインビユー セイバーサム」

農業振興課

市内の牛が大躍進！県畜産共進会で好成績

第101回広島県畜産共進会

10月21日、広島県三次家畜市場で、第101回広島県畜産共進会「種畜の部」が開催され、市内から32頭（肉用種19頭・乳用種13頭）の牛が出品されました。

肉用種牛の第1区優秀賞4席には、永田豊秋さん（高野町）出品の「みねいとしげつる」、第2区優秀賞首席には下奥朋郎さん（高野町）出品の「いととなつ2130」、第3区優秀賞首席には赤木一超さん（東城町）出品の「第3きよこ1の4」、第4区優秀賞4席には大迫一三さん（峰田町）出品の「かつかね18」が選ばれました。

また、乳用種牛の未經産牛第1区優秀賞首席には和田慎吾さん（東城町）出品の「ビシヌマフアームガバナスフォルティ」、經産牛第4区優秀賞2席には才木敏希さん（峰田町）出品の「ビグラスジェダイドラミ」が選ばれました。

なお、それぞれの優秀賞首席の中から選ばれる総合首席を、乳用種未經産牛では和田慎吾さん（東城町）出品の「WDカネフアジャガーホームズ」が獲得しました。

第101回を迎えた歴史ある共進会で、本市で生産された牛が総合首席をはじめ上位に多数入賞したことは、地域の改良の歩みを実感できる結果となり、これまでの取り組みが確かな成果として表れた共進会となりました。



乳用種未經産牛総合首席を獲得した和田さん



第3区優秀賞首席を獲得した赤木さん

Camera Report

カメラレポート

●市内のイベントやまちの話題をお届けします。 行政管理課広報統計係 ☎ 0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



食の大切さ学び、同世代と交流

企業の新人研修で高野・稲刈り体験・10/23

高野町岡大内の田んぼで、福山市の総合建設業を営む株松原組の新社員11人が、稲刈りや食体験を行いました。

同社は「社員に安全・安心の美味しいお米を食べさせたい」と、社員食堂やレストランで使用する米を3年前から高野町の田んぼで、無肥料・無農薬にこだわり栽培しています。

この日は、栽培スタッフから、稲の刈り方、結束の仕方などを教わりながら、稲の手刈りに汗を流し、食の大切さを体感しました。

昼食は、羽釜で炊いたご飯のおにぎりや豚汁、ドライカレーのほか、地元の皆さんからいただいた高野りんごやジュース、漬物など、高野の味覚も満喫しました。

参加者は「職場を離れて同年代と交流でき、とてもリフレッシュできた」「高野の食がおいしかった」「これを機会にまた高野を訪れたい」と話しました。

同社は昨年度、企業版ふるさと納税で、高野地域の振興に役立ててほしいと1,000万円を寄付。下高自治振興区の草谷洋事務局長は「松原組の取り組みに感謝している。地域ぐるみの交流や、企業と地域の連携を深めて地域の活性化につなげたい」と農業体験を歓迎していました。



▲稲刈りを行う参加者



▲昼食のおにぎりを楽しむ参加者



日頃の練習の成果を発揮

庄原市中学校駅伝競走大会・10/11

No.7

道後山高原クロカンパークで「男子第 66 回・女子第 44 回庄原市中学校駅伝競走大会」が開催され、市内中学校の中から男子 6 チーム、女子 3 チーム、ロードレースの部から男女合わせて 22 人が出場しました。

当日は、仲間からの「がんばれ!」「諦めるな!」といった熱い声援が走者の背中を後押しし、どのチームも一丸となって、最後まで走りきりました。

この大会は、中国中学校駅伝競走大会予選会も兼ねており、女子は庄原中、口和中が、男子は庄原中、東城中が代表校に選出。11 月 16 日に行われた中国中学校駅伝競走大会でも、東広島島の地で、庄原の代表校として堂々と走りました。



▲男子 6 チームが一斉にスタート

ピンクリボン活動を推進!

ふれあい東城まつり・10/19

No.6

プレストケア・ピンクリボンキャンペーン in 東城実行委員会が、ふれあい東城祭りで、乳がん検診の受診と乳がん自己検診の重要性について啓発活動を行いました。

乳がんて悲しむ人を減らすための企画「メッセージを伝えよう」では、感謝の言葉や「明日検診を受けます」「他人事ではなく自分事として!」など、前向きなメッセージがたくさん寄せられました。

同実行委員会会長の近藤久子さんは「活動を継続することでピンクリボンの意味を理解してもらえるようになった。若い世代の乳がん罹患率も高いため、今後も市内全域で啓発活動が必要」と話しました。



▲実行委員会メンバーから説明を聞く来場者

若者が住み続けたい将来像を描く

高野・未来ビジョンワークショップ・10/20

No.9

高野地域づくり未来塾で、9 月 19 日、10 月 7 日、20 日の延べ 3 回、高野・未来ビジョンワークショップが開催され、高野地域に在住および関わりのある 20 ~ 40 代の若者延べ 23 人が参加しました。

これは、人口減少が進む中、若者や子育て世代に選ばれる地域をつくるため、実施されたものです。

まちづくりデザインに知見のある谷田恭平さん(株 umika)と内藤真也さん(JR 西日本)をファシリテーターに招き、暮らし、公共交通、働く場、買い物をテーマに課題を洗い出し、解決策など未来ビジョンを描きました。

参加者は「このビジョンが本当に実現できたら、自信を持って子どもたちに帰って来いと言える。ぜひ、実現に向けがんばりたい」と話しました。



▲ワークショップに取り組む参加者

学祭に市のブースも出展

県立広島大学庄原キャンパス大学祭・10/25 ~ 26

No.8

県立広島大学庄原キャンパスで、2 日間に渡り第 36 回白楊祭が開催されました。

会場のメインステージでは、軽音部やアーティストの演奏、お笑いライブなどが行われ、会場を大いに盛り上げました。

25 日には、市が企画したブースも出展し、大学関係者を対象にジビエ料理を無料提供。また、「庄原ファンクラブ」の加入者を対象にした米すくいイベントブースや、市の特産品が抽選で当たるデジタルスタンプラリーイベントなども行われました。

ブースを訪れた学生は「庄原市のジビエ料理を堪能し、楽しみながら市の魅力を知ることができた」と話しました。



▲ブース前にできた学生の列

▲学生にジビエ料理を振る舞う

火の用心 マッチ一本火事のもと

幼年消防クラブ合同防火パレード・10/24

No.3

西城町内で、秋の全国火災予防運動の一環として、幼年消防クラブ合同防火パレードが開催されました。

この行事は、地域住民の防火・防災意識の高揚を図ることを目的に、西城保育所おひさま幼年消防クラブ、庄原消防署西城出張所、庄原市消防団西城方面隊、庄原警察署、市役所西城支所が合同で毎年実施しているもので、本年度で 38 回目を迎えます。

当日は、西城保育所の園児たちが元気いっぱいに「火の用心 マッチ一本火事のもと」と唱和しながら拍子木を鳴らし、町内をパレードしました。園児たちの可愛らしい呼びかけに、地域の皆さんも笑顔で応え、防火への意識を新たにしていました。



▲パレード参加者で記念撮影

地域で盛り上げる秋祭り

第 30 回比和やまびこ祭・10/19

No.5

比和総合運動公園で、第 30 回比和やまびこ祭が開催され、多くの来場者でにぎわいました。

当日は、大正琴や比和小児童による合唱、比和中生徒による比和牛供養田植の演技、地域対抗でのフライングディスク競技などが行われ、会場を盛り上げました。また、地域子どもたちはロードレースに参加し、大勢の観客が応援する中、一生懸命にコースを駆け抜けていました。

また、成田匠さん率いるバイクチームによるトライアルスーパーデモの華麗な技の数々や、塩乃華織さんによるスペシャルショーの華やかな歌声が来場者を魅了し、見どころあふれる祭りとなりました。

実行委員長の若林隆志さんは「天候にも恵まれ、みんなの協力のおかげで良い祭りとなった」と話しました。



▲比和中生徒による比和牛供養田植の演技

まちなかを彩る伝統の行列

お通り・11/2

No.2

東城小学校をメイン会場に「お通り」が開催され、約 1 万 8 千人が来場しました。

「お通り」は江戸時代から続く伝統行事で、東城五品嶽城主の長尾半平が関ヶ原の戦いの勝利を祝って、神社の祭り行列に武者行列を加えたことが始まりとされています。

サザンカで飾りつけた矢よけの武具「母衣」をはじめ、大名、武者、華童子など総勢約 100 人からなる行列が市街地を練り歩き、沿道は市内外から訪れたカメラマンなど多くの来場者でにぎわいました。

来場者は「母衣が町並みを歩く姿はとても華やかで良かった」と話しました。



▲市街地を通る母衣の行列

共に考える庄原市の未来

県立広島大学庄原キャンパス フィールド科学・11/7

No.4

県立広島大学庄原キャンパスで 1 年生対象の「フィールド科学」の講義が開催されました。

この講義は全 8 回開催され、市や議会、商工会議所、自治振興区などの関係者が外部講師となり、学生に地域の現状や課題を学ぶ機会を提供するものです。

最終回となる今回の授業は、学生がグループに分かれ、八谷市長に公共交通の改善や若者の遊び場不足の解消、SNS を活用した地域の魅力発信など、市の課題解決のための多様な提案を行いました。

市長は、学生が市の未来を主体的に考える姿に感銘を受け、参加した学生は「市長に直接提案することができるととても貴重な経験だった。自分たちの意見が少しでも課題解決につながってほしい」と話しました。



▲市長のあいさつに耳を傾ける県大生

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
困りごとなど、
お気軽にご相談を

| 各種相談 | とき | | ところ | 備考 | 問い合わせ |
|--------------------------|------------------------------------|--|-------------------------------|---------------------------|---|
| 人 権 相 談 | 庄原 | 1月20日(火)13時30分～15時30分 | 庄原市ふれあいセンター | 人権擁護委員 | 広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070 |
| 行 政 相 談 | 庄原 | 1月15日(木)13時～15時 | 庄原市ふれあいセンター | 行政相談委員 | 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154 |
| | 東城 | 1月15日(木)13時30分～15時30分 | 東城支所 | | 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121 |
| | 総領 | 1月14日(水)9時～11時 | 総領保健福祉センター | | 総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063 |
| 法 律 相 談 | 比和 | 1月9日(金)13時～16時 | 比和自治振興センター | 広島弁護士会による 無料相談。要予約。 | 広島弁護士会 ☎0120-969-214 |
| 生活安全相談 | 毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時 | | 市民生活課市民生活係 | 生活安全相談員 | 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244 |
| | | | 東城支所市民生活係 | | 東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121 |
| 消費生活相談 | 毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～12時、13時～16時 | | 市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター | 消費生活相談員 | 庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154 |
| 北 部 地 域 民 相 談 室 | ① | 毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時15分～12時、13時～16時 | 広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1 | 相談員 (電話・来所) | 北部地域県民相談室 ☎0824-62-5522 |
| | ② | 1月8日(木)13時～14時30分 (30分×3枠) | | 弁護士 ※①の相談後、予約可 | |
| 家庭児童相談 | 毎週月～金(祝日・年末年始除く) 9時～16時 | | 児童福祉課あんしん支援係 | 家庭児童相談員 | 家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243 |
| 妊 娠・出 産 子 育 て の 相 談 | 毎週月～金(祝日・年末年始除く) 8時30分～17時15分 | | ほのぼのネット (市役所本庁舎2階) | 助産師・保健師 保育士・社会福祉士 | ほのぼのネット ☎0824-73-1214 |
| 認知症カフェ | 庄原 | 「これから」 1月13日(火)13時～15時 | 庄原ショッピングセン タージョイフル2階 | 相談・情報交換 参加費なし | 高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165 |
| | 西城 | 「コスモスカフェ」 1月8日(木)13時30分～15時 | 西城保健福祉センター (しあわせ館) | 相談・情報交換 参加費100円 | 西城支所保健福祉係 ☎0824-82-2202 |
| | 東城 | 「おれんじカフェ・ええ塩梅」 12月23日(火)13時30分～14時30分 | 東城支所 | | 東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131 |
| | 高野 | 「Men's Cafe」 12月25日(木)11時～14時30分 | 高野保健福祉センター | | 高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115 |
| | | 1月8日(木)13時30分～14時30分 | | | |
| | 比和 | 「ほっとカフェ」 1月16日(金)10時～12時 | 下高自治振興センター | 相談・情報交換 参加費なし | |
| 障害者相談員 定 期 相 談 会 | 庄原 | 「あしたのカフェ」 1月20日(火)13時30分～15時 | 比和温泉施設あけぼの荘 | 相談・情報交換 参加費100円 | 比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001 |
| | 比和 | 1月19日(月)13時30分～15時30分 | 庄原市ふれあいセンター | 身体障害者相談員 | 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210 |
| 身 体 障 害 者 補 装 具 判 定 会 | 肢体 | 1月7日(水)9時30分～11時30分 | 比和ふれあいセンター | 身体・知的障害者相 談員 | 比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001 |
| 心の健康相談 | 1月20日(火)13時～13時45分 | | 広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1 | 1週間前までに要予約 | 社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210 |
| | 1月20日(火)13時～14時30分 | | 広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1 | 精神科医師による無料 相談。事前予約が必要。 | 広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185 |

ヒートショックとは？

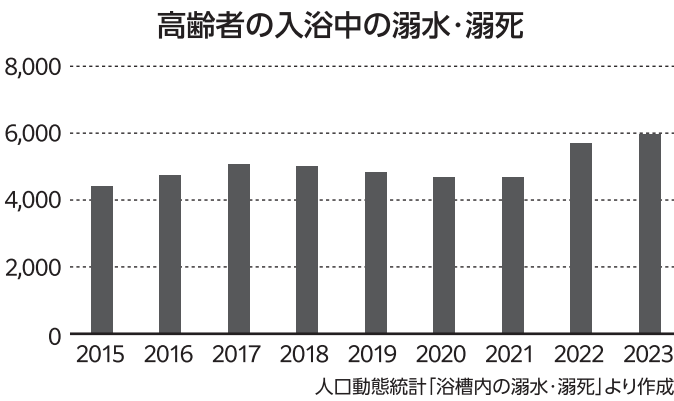
庄原市医師会 総領診療所
はまさき 濱崎 政宏



「ヒートショック」は正式な医学用語ではありませんが、「急激な温度変化により血圧が上下することで、心筋梗塞や不整脈、脳出血・脳梗塞などの発作を起こすこと」を指します。

人口動態統計では、家庭の浴槽での事故件数は徐々に増加し、2023年では6,010人に上ります。

これは交通事故死者数の約1.5倍以上という、非常に深刻な状況です。



●ヒートショックのメカニズム

ヒートショックは、急激な温度差による血圧の大きな変動により引き起こされます。特に、寒い脱衣所や浴室で体が冷えた状態から熱いお湯に入ると、血圧が急上昇・急降下して、心臓や血管に負担が掛かります。

特に気温が低くなる冬季は、寒暖差によって心臓や血管に負担が掛かり、脳卒中や心筋梗塞といった致命的

な疾患を引き起こしたり、入浴中に血圧が低下することで失神したりするといわれています。

また、特にヒートショックに注意が必要なのは、糖尿病や高血圧、脂質異常症など、生活習慣病の治療をしている人です。

●ヒートショックを防ぐには

- ① 入浴前後に水分を摂取しておく

② お酒、薬を飲んだら入浴しない

③ 脱衣所、浴室を温めておく

④ 入浴する前に同居の家族に声を掛ける
- ⑤ 入浴する前に掛け湯を行う

⑥ お風呂の温度は41℃以下、10分以内に上がる

⑦ 浴槽から出る時はゆっくり立ち上がる



●もしも家族がお風呂で倒れたら

入浴中に具合が悪くなった人を見つけた場合、意識がない場合は直ちに水を抜いて溺れないようにしましょう。

意識がある場合は、そのまま浴槽から救出しましょう。

いずれの場合でも、体をバスタオルなどで拭き、保温しつつ救急車を呼びましょう。

●最後に

ヒートショックは、入浴習慣の見直しによって予防できます。

ご自身やご家族がハイリスクな場合は特に、7点の予防策を実践しつつ、安全な入浴を行ってください。



保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

| 市内の主な施設 年末年始の業務案内 | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|------------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|------|------|------|------|
| | | 12/25(木) | 26(金) | 27(土) | 28(日) | 29(月) | 30(火) | 31(水) | 1/1(木) | 2(金) | 3(土) | 4(日) | 5(月) | 6(火) |
| 市役所(本庁・各支所) | | ☎0824-73-1123 | | | | | | | | | | | | |
| 田園文化センター | | ☎0824-72-1159 | | | | | | | | | | | | |
| 総合体育館 | | ☎0824-72-8000 | | | | | | | | | | | | |
| ふれあいセンター | | ☎0824-75-0301 | | | | | | | | | | | | |
| 西城市民病院(救急は24時間対応) | | ☎0824-82-2611 | | | | | | | | | | | | |
| 帝釈峡博物展示施設時悠館 | | ☎08477-6-0161 | | | | | | | | | | | | |
| 口和郷土資料館 | | ☎0824-87-2230 | | | | | | | | | | | | |
| 比和自然科学博物館 | | ☎0824-85-3005 | | | | | | | | | | | | |
| ごみ処理 | 収集 | | | | | | | | | | | | | |
| | 持ち込み | | | | | | | | | | | | | |
| | 備北クリーンセンター | ☎0824-72-2044 | | | | | | | | | | | | |
| | リサイクルプラザ | ☎0824-72-1398 | | | | | | | | | | | | |
| 東城ストックヤード | | ☎08477-2-0214 | | | | | | | | | | | | |

●その他の施設については、直接各施設へ問い合わせください。

| 母子保健事業 | | | | | ●保健医療課母子保健係 ☎0824-73-1214 |
|----------|----------------------|--------------------|--|-----------------------------------|---------------------------|
| 事業名 | とき | ところ | 持ってくるもの | 備考 | |
| 母子健康手帳交付 | 1月5日(月)・19日(月)9時～17時 | 保健医療課母子保健係 | ■出産予定日と受診した病院名が分かるもの ■マイナンバーカード ■振込先口座が分かるもの(妊婦本人の通帳、キャッシュカードなど) | 事前予約が必要 | |
| | 1月10日(土)10時～12時 | 庄原ひだまり広場(こども未来広場内) | | 事前予約が必要(先着2組) | |
| | 12月22日(月)9時～12時 | 東城支所 | | 事前予約が必要 | |
| 育児相談 | 1月13日(火)10時～11時40分 | 庄原ひだまり広場(こども未来広場内) | 母子健康手帳 | 事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。 | |



募集

ごみ収集カレンダー広告

市が作成する令和8年度版の「ごみ収集カレンダー」に掲載する広告を募集します。

募集枠 12枠

規格 縦3センチ×横25センチ(見開きカレンダー)

配布部数 市内全世帯に約1万5千部

広告料金 1枠2万円

(ただし1社につき2枠まで)

募集期間 12月19日(金)まで

※応募多数の場合は、市内の人を優先し先着順とします。

申し込み・問い合わせ 財政課財政係

☎0824・73・1129

三次高等技術専門学校 訓練生

県立三次高等技術専門学校では、4月入校生を募集します。

募集訓練科

- ▼自動車整備科(期間2年) 高卒18歳以上30歳以下
- ▼溶接加工科(期間1年) 50歳以下
- ▼建築科(期間1年) 45歳以下
- ▼介護サービス科(期間6ヵ月) 年齢制限なし

応募受付期間 1月5日(月)～2月9日(月)必着

選考日 2月26日(木)

選考内容 数学・国語・面接

合格発表 3月6日(金)

訓練支援措置 一定の要件を満たす人は、訓練期間中に雇用保険手当や給付金が支給されることがあります。最寄りのハローワークに相談してください。

見学会 毎週水曜日 13時30分から

※右記以外の日時を希望する場合はご相談ください。

問い合わせ 三次高等技術専門学校

☎0824・62・3439

三次高等技術専門学校 仕事体験入学参加者

県立三次高等技術専門学校では、入校を考えている人を対象とした、仕事体験入学参加者を募集します。

※見学のみも可

体験内容・定員

- ▼自動車整備科(自動車整備体験) 定員 6人
- ▼溶接加工科(バーベキューコンロ製作) 定員 6人
- ▼建築科(ミニ万能台製作) 定員 3人

とき 1月24日(土) 9時30分～12時

募集期間 12月1日(月)～1月22日(木)

応募方法 ホームページ(次の二次元バーコードの申し込みフォームから応募してください。)

問い合わせ 三次高等技術専門学校

☎0824・62・3439

第3期庄原市長期総合計画に係るパブリックコメント

「第3期庄原市長期総合計画」は、市の最上位計画に位置付けられ、令和8年度からの市の10年間の将来を創造する計画です。

このたび、基本構想、基本計画案についてパブリックコメントを募集します。

対象者

- ・市内に住所を有する人
- ・市内に通勤または通学する人
- ・市内に事務所または事業所を有する人
- ・利害関係を有する人

提出方法 郵送、FAX、電子メール

※詳しい内容は、市ホームページをご覧ください

提出先

郵送 企画課企画調整係

〒727・8501 中本町一丁目10番1号

FAX 0824・72・3322

電子メール kikaku-chousei@city.shobara.lg.jp

パブリックコメントとは

市の基本的な政策などの策定に当たり、事前に内容を公表して市民の皆さんからご意見などを募集し、寄せられたご意見などを考慮して意思決定を行う制度です。

問い合わせ 企画課企画調整係

☎0824・73・1128

▲市内事業者を交え開催したワークショップ

▲長期総合計画審議会

広告

[親切・丁寧をモットーに地域社会に貢献する会社を目指しています!]

賃貸アパート/売買戸建て/土地

庄原市のアパート探し、庄原市・三次市の戸建て・土地のことならお任せください。また不動産の売却相談・買取も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

広島県知事(5)第9130 (社)全日本不動産協会 (社)不動産保証協会

有限会社 カントリーランド

〒727-0012 広島県庄原市中本町1-4-9 庄原市役所前

TEL:0824-72-1497 FAX:0824-72-1435

ホームページ

広告

住宅のリフォーム・リペアー

診断・見積 無料

☎気軽にお電話くださいね!

太陽光発電パネル・蓄電池も取扱っております。

庄原テクニカルサービス [株式会社サンユウ 認定販売店]

〒727-0013 広島県庄原市西本町3丁目18-17

お問合せ 0824-73-9100

広告

保育士(中途/新卒)募集中

当社は庄原市100%出資の会社です。あなたの「ちから」が庄原市には必要です。詳しい求人内容は当社webサイトからご覧いただけます。→

お問い合わせ先

まごころと信頼の提供

庄原市総合サービス株式会社

〒727-0012 庄原市中本町二丁目13-24 Tel (0824)75-0600 http://shobara.co.jp

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000
(<https://www.bihokupark.jp/>)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 12月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 |
| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 |
| | 休 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ★ | ○ | 休 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ★ | ○ | 休 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ★ | ○ | 休 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ★ | ○ | ○ | ○ | 休 |

| | | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|
| 1月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 | 月 |
| | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | ▲ | ▲ | ▲ | ▲ | ○ | ○ | ○ |

【開園時間】 ☉: 9 時30分～21時 ★: 9 時30分～22時
 ▲: 14時～21時 休: 休園

ひばの里で収獲したもち米
で餅つきを行います。つきた
ての餅は先着100人に振る
舞います。

とき
1月2日(金)～4日(日)



ことし1年間の感謝の気持ちを込めて、庄原産手打ちの年越しそばを先着100人に

冬至にちなみ、ユズを使
 たり。 たみそ作りを楽しめます。
 とき 12月20日(土)・21日(日)
 9時30分～17時30分
 (受け付けは16時30分まで)
 ところ

竹で組んだとんどで正月飾りを焚き上げて、一年の無病息災を願います。

2026年の干支「午年」うまどし

の人は点火に参加できます。

とき 1月11日(日)



司法書士法人
広島北部司法事務所
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315 (要予約)

●不動産の名義変更 ●成年後見
●相続登記・遺言 ●会社の登記
●借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに記載しています。

庄原 司法書士

検索

災害時に一番早く復旧するプロパンガス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場を
ご提案致します。



広島県庄原市是松町 5020 番地 40 TEL0824-72-056



こんなモノまで売れる?! 自宅にしながら高額買取!!



壊れたアクセサリー
買取例 18,000円



古い・動かないミシン
買取例 8,000円



古い農機具・工具
買取例 15,000円



切手・古銭
買取例 8,000円

創業64年の販売ルート 全国的にも数が少ない

他社で断られた物でも高額買取!!

0120-66-1035

株式会社 ジェイワゴン スエムネ 美幸・ピコウ

申請者の本人確認ができる書

※保管申請には予約が必要です。管轄要件などもありますので、事前に広島法務局三次支局までお問い合わせください。

中国大会

第34回中国高等学校新人
陸上競技対校選手権大会

（10月12日／鳥取県鳥取市）
男子走高跳
第4位
黒永 拓海（沼田高2年・戸郷町）

全国大会

※学年は大会開催当時で紹介
ます。(敬称略)

その他

第40回国民文化祭第25回
全国障害者芸術・文化祭
ながさきピース文化祭
2025

（11月2日／長崎県長崎市）
川柳の祭典

入選
荒木美智子
(是松町)


市税・保険料の納期限のお知らせ

- 固定資産税 3 期
- 国民健康保険税 (普徴) 6 期
- 介護保険料 (普徴) 7 期
- 後期高齢者医療保険料 (普徴) 6 期

納期限
1月5日(月)

- 口座振替は、納付忘れがなく、安心・便利・確実です。
●「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高
確認をお願いします。 収納課収納係 ☎ 0824-73-1511






人の動き（庄原市の人口）

令和7年10月末現在

【住民基本台帳登載人口】
人口　３０,４８８人（前年比－８２５人）
男　　１４,６１６人（前年比－３８７人）
女　　１５,８７２人（前年比－４３８人）
世帯数　１４,６１６世帯（前年比－２５０世帯）
【うち外国人】人口　５９９人（前年比２７人）
【各地域の内訳】
○庄原地域　１６,２８１人（７,７８９世帯）
○西城地域　　２,７５１人（１,２７０世帯）
○東城地域　　６,３３０人（３,１７７世帯）
○口和地域　　１,６３３人　（７３５世帯）
○高野地域　　１,４０２人　（６１５世帯）
○比和地域　　１,０４８人　（５０９世帯）
○総領地域　　１,０４３人　（５２１世帯）



休日診療のご案内

12月・1月の休日診療については、次のとおりです。

●庄原市休日診療センター

診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
問診療日　☎0824-72-9900
診療日以外　☎0824-73-1155（保健医療課）

●東城地域

| | | |
|-----------|---|---------------|
| 12月21日(日) | 東城病院 | ☎08477-2-2150 |
| 28日(日) | 庄原市休日診療センター | ☎0824-72-9900 |
| 29日(月) | 次のいずれかにご連絡ください。 庄原赤十字病院(☎0824-72-3111) 西城市民病院　(☎0824-82-2611) 庄原市休日診療センター(29日を除く) (☎0824-72-9900) | |
| 30日(火) | | |
| 31日(水) | | |
| 1月1日(木) | | |
| 2日(金) | | |
| 3日(土) | | |
| 4日(日) | 日伝病院 | ☎08477-2-2180 |
| 11日(日) | 庄原市休日診療センター | ☎0824-72-9900 |
| 12日(月) | 庄原市休日診療センター | ☎0824-72-9900 |
| 18日(日) | 三上クリニック | ☎08477-2-1151 |



献血のご案内


問保健医療課 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

| 実施日 | 会　場 | 受付時間 |
|---------|--------|--------------------------|
| 1月8日(木) | 市役所本庁舎 | 10時～11時15分 12時30分～15時 |

広報日記

▶今月の表紙、いかがでしたでしょうか。お通りの撮影中、雨が降ってきた中での1枚です。撮影を快諾いただいた出演者の皆さん、全面的にバックアップしてくれたお通り保存振興会の皆さんに感謝！です。☎
▶お通りの取材当日は、ときどき強い風が吹いていました。特に母衣は風の抵抗を強く受け、立っているだけでも大変そうな場面もありましたが、終点の東城小グラウンドまで頑張って歩いていました。☎



食育コーナー

問児童福祉課 ☎ 0824-73-1192

みんなでつなごう里山の夢 ～地域に見守られて育つ子どもたち～

山内保育所では、子どもたちが食べる喜びを日々感じることができるよう、次の取り組みを行っています。

保育所の畑に野菜の苗を植えたり、地域の農家に協力いただき、広い畑でサツマイモの苗植えを行ったりして、野菜の成長を見守ります。自分たちで植えて収穫した野菜は、給食の食材として使ってもらったり、クッキングに利用して食べたりしています。

野菜を育てることの面白さや大変さ、そして採れたての野菜の味のおいしさや料理を作る楽しさを通して、子どもたちの豊かな心を育んでいます。

また、山内地域には地域が誇るブランド米「里山の夢」があり、数年前から週に1～2回給食に取り入れています。保育所で行う給食試食会の際には「庄原里山の夢ファーム」の方に来ていただき、里山の夢がどのようにして作られているのか親子でお話を聞きました。今年は「心を込めて作っておられるお米の作り方を見せてもらおう！」ということで、年長児が田植えと稲刈り体験に挑戦しました。春はヌルヌルの水田を歩く大変さ、秋は屈んで稲を手刈りをする大変さを経験しました。年中児は刈った稲をせっせと束にして「はで」に掛けました。泥んこでへとへとになりながらも、終わった後の子どもたちの表情は達成感でいっぱいでした。

そして、10月の運動会では「みんなで繋ごう！里山の夢」と題して里山の夢がこれからも地域の宝としてあり続けるようお願いを込め、里山の夢の米袋をバトン代わりにリレー競争を行い、大盛況に終わりました。

このような体験を通して、お米や野菜作りの大変さ、作ってくださる人への「感謝」や「命の大切さ」を学んでいます。これからも子どもたちに地域の方の活動や思いを伝えていき、地域の方に温かく見守られながら心も体も元気に成長してほしいと思います。



▲稲刈りに取り組む園児たち




しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

1月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局
☎ 0824-72-8285 まで
と　　き　1月9日（金）9時～13時
と　　ころ　中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで　<http://kunchi-ichi.jp/information.html>



時悠館

☎ 08477-6-0161
開館：9時～17時、休館：水曜（祝日開館・翌日休館）・年末年始

重要な新発見が続く帝釈峡遺跡群

本年6月、第35回中四国縄文研究会広島大会が当館で開催され、100人近い研究者が全国から集まり、帝釈峡遺跡群での最新研究が発表されました。その一部を紹介します。

1つ目は、県外研究者の発表（文献①）で、国史跡「寄倉岩陰遺跡」の縄文晩期の土器の小さな穴が、国内最古例となるキビの圧痕だったという新発見です。イネ・アワ・キビなどの大陸系穀物が、九州北部へ伝わり始めた頃、既に帝釈峡でも栽培されていたのです。中学生の職場体験では、クイズ形式で展示し、広報しょうばら8月号でも紹介しています。

2つ目は、昨年、大学の卒業論文で当館の「貝輪」を調べた若い研究者の発表（文献②）です。

縄文時代の装身具である貝輪は、帝釈峡遺跡群では11遺跡から、未製品を含む49点が出土しています。多くは海産貝類を素材とし、沿岸部との交流が論じられてきました。

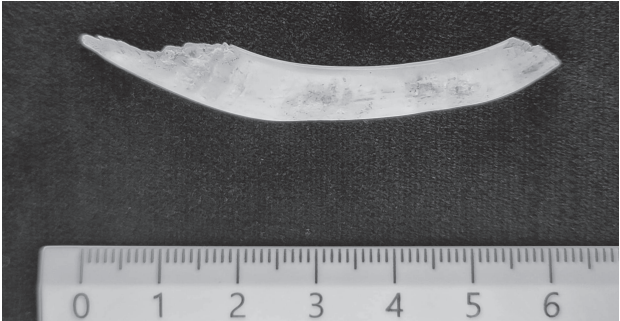
今回、寄倉岩陰遺跡から出土した20点とその他加工品2点を分析したところ、貝輪15点、未製品5点、貝加工品2点が確認されました。また、貝輪製作の3工程（「穿孔（穴をあけること）」→「加工」→「仕上げ」）のうち、沿岸部の遺跡で穿孔した後に、帝釈峡遺跡群まで運び、加工・仕上げを行っていたことも分かってきました。

素材の貝については、従来から知られるサルボオなどに加えて、タマキガイ、ベンケイガイが新たに確認されました。これらは日本海沿岸にも生息する貝です。

さらに、貝輪の1点は、大隅・トカラ・伊豆諸島のみに生息する南海産のオオツタノハでした。当時の最高級素材であり、中四国地方では岡山市彦崎貝塚、笠岡市津雲貝塚に続く3例目という衝撃の新発見でした。貝をめぐる列島規模の交流にも加わっていたようです。

最前線の研究者たちが挑む相手は「帝釈郷土館」の頃からの展示品であり、これは長年にわたり館運営を支えて下さった皆さんの支援の賜物といえます。

文献①：中沢道彦・濱田竜彦「レプリカ法による帝釈峡遺跡群出土土器の種実圧痕の調査と派生する問題」『第35回中四国縄文研究会広島大会　中国山地の考古学―帝釈峡遺跡群から山間部縄文社会を考える―』中四国縄文研究会 2025年
文献②：清水友陽「帝釈峡遺跡群の貝輪―帝釈寄倉岩陰遺跡出土資料の紹介―」（同上）



▲新発見のオオツタノハ製貝輪(国史跡「寄倉岩陰遺跡」の展示品)



市民ギャラリー「アート多愛夢」

情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

▶かじおか由美手づくり人形作品展
▶世界児童画作品展

と　　き　1月8日(木)～10日(土)　10時～15時
問アート多愛夢事務局　☎ 0824-72-6405（友永）
※展示を希望する団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。



食彩館しょうばら

ゆめさくら

☎ 0824-75-4411

12・1月のイベント情報
▶ゆめさくら講座
○草木染め教室(柿渋ほか)
と　　き　12月15日(月)　①9時～12時　②13時～16時
▶展示・イベント・販売
○ゆめさくら歳末感謝祭
と　　き　12月26日(金)～28日(日)
【年末年始の休館日】
と　　き　12月31日(水)～1月3日(土)



ロビーコンサート

問生涯学習課 ☎ 0824-73-1189

と　　き　12月22日(月)12時15分～12時55分
と　　ころ　市役所本庁舎　1階市民ホール
出演者
フィッシュ・ヴァイン・ヒエン Vier Schweinchen（4匹のこぶた）
柴　久美子・・・ソプラノ
小畑　佳子・・・ソプラノ
神野　靖子・・・ソプラノ
福永　真弓・・・ソプラノ
生塩公光子・・・ピアニスト

演奏曲目
ロマンチストの豚（やなせたかし作詩・木下牧子作曲）、アヴェ・マリア、クリスマスメドレー　ほか
▶Vier Schweinchen（4匹のこぶた）
グループ名の「Vier Schweinchen」とは、ドイツ語で「4匹のこぶた」のという意味。
国立音楽大学声楽科を卒業しているという共通点を持つ、広島県下で活躍している4人のソプラノで結成された女声アンサンブルグループ。
メンバー全員がソプラノでありながら、アンサンブルではメゾソプラノやアルトもこなし、ステージでの芝居やトークも好評を博している。



行政
管理課

子どもたちの笑顔のために！市長と保護者の情報交換会

市長懇談会～つなぐサロン～



子育てに関する話を中心に意見交換

市は、市政に関する身近な問題などについて、懇談テーマや対象者を定め、少数の人と直接意見交換する場として、市長懇談会「つなぐサロン」を始めました。

11月15日に「子どもたちの笑顔のために！市長と保護者の情報交換会（乳幼児の保護者編）」をテーマに開催し、申し込みをいただいた5人と、市長室で意見交換を行いました。

懇談では、安心して子どもたちが成長できる環境や、現在困っていることなどについて意見を交わし、参加者は「市長へ直接思いを伝えられ、とても有意義だった。今後またくさんのジャンル、世代、職業の人と意見交換をしてほしい」と話しました。今後とも皆さんの意見を直接伺う場として、市長懇談会「つなぐサロン」を開催していきます。興味のあるテーマの時は、ぜひご参加ください。

生涯
学習課

秋晴れの下で交流を楽しむ

第20回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会

団体ゲーム（女子）
第1位 庄原女性A
小林 千鳥・垣 智加子
中山 節子・藤川 八重子
永山 克枝

第3位 庄原男性A
風谷 房人・中川 茂樹
橋本 人志・藤川 光昭
門丸 秀昭

第2位 庄原男性D
堀内 清利・宮脇 孝好
城田 正己・田辺 稔
森岡 重記

第1位 庄原男性B
山脇 孝三・谷本 勲三
原田 實夫・大土 貞身
森久 昭博

第20回庄原市民健康づくり
グラウンド・ゴルフ大会結果
(敬称略)

10月18日、田総の里スポーツ公園で、第20回庄原市民健康づくりグラウンド・ゴルフ大会を開催しました。

秋晴れの空の下、30チーム150人が参加し、他チームの選手との交流を楽しみながら試合に臨みました。

上位入賞チームおよび入賞者は次の通りです。



和気あいあいとプレイする選手の皆さん

個人ゲーム（女子）
第1位 國原 幾子（東城町）
第2位 福本 真知子（東城町）
第3位 藤川 八重子（川手町）

個人ゲーム（男子）
第1位 森岡 重記（西本町）
第2位 児島 茂春（三日市町）
第3位 松浦 康郎（東城町）

第2位 庄原女性C
風谷 文子・大土 美枝子
市川 千枝・船頭 ムツコ
谷本 アツ子
第3位 高野 女性
藤原 美由紀・中村 須美子
大坂 悦子・根波 日登美
栗原 陽子

児童
福祉課

乳幼児の豊かな感性を育てる贈り物

公益財団法人浦上奨学会による絵本などの寄贈



親子行事での読み聞かせ

公益財団法人浦上奨学会から、市内の幼稚園や保育所、ほのぼののネットへ、絵本や図鑑などの寄贈を受けました。

同会は、乳幼児の豊かな感性を育み、子育ての孤立化を防ぐことを目的に絵本などを寄贈する活動を行っています。

寄贈された絵本などは各施設で大切に使用され、子どもたちの想像力、思考力、知的好奇心の育成につながっています。

寄贈を受けた田森保育所の堀寛子所長は「毎年寄贈いただく絵本を、子どもたちも楽しみにしている。特に、大型絵本は日常の読み聞かせのほか、さまざまな行事でも活用しており、保育活動の充実にもつながっている」と話しました。